

大東文化大学学長杯

第26回 英語スピーチコンテスト

大東文化大学学長杯英語スピーチコンテストは、全国の高校生および大東文化大学生が高校の部・大学の部に分かれ、英語でのスピーチおよびプレゼンテーションの能力を競い合うコンテストです。本コンテストでは、自己意見を英語で要約・伝達する能力を養うこと、およびデジタルツールを用いたプレゼンテーション能力の向上を目指します。

1. 主催・運営・協力・後援

| | |
|----|---|
| 主催 | 大東文化大学外国語学部英語学科 |
| 運営 | 大東文化大学英語スピーチコンテスト実行委員会 (外国語学部英語学科、外国語学会英語部会) |
| 協力 | 国際交流センター事務室 |
| 後援 | 大東文化大学青桐会 |

2. 開催内容

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 2026年10月24日(土) 開場 12:30 / 開始 13:00 |
| 開催場所 | 大東文化大学板橋キャンパス |
| テーマ | Taking Opportunities |
| 出場者 | ①高校生の部(全国) 10名程度 ②大学生の部(大東文化大学生のみ) 10名程度 |
| 実施内容 | オンライン提出の応募資料(原稿、および音声または映像)をもとに、実行委員会が予選審査を行う。各部門10名程度、計20名程度の予選通過者を選抜し、該当者は本選で競う。 |

テーマについて：“Don't wait for opportunity, go out and seize it!”

日常の中には、大小さまざまな「機会」が存在しています。しかし、それに気づくかどうか、そして実際に行動に移すかどうかは自分次第です。変化のスピードが速い現代においては、ただ待つだけではなく、自ら一步を踏み出し、機会をつかみにいく姿勢がこれまで以上に求められています。

皆さんはこれまでに、挑戦するか迷った経験や、思い切って行動したことで新しい道が開けた経験はあるでしょうか。また、これからどのように機会を見つけ、どのようにそれを自分の成長につなげていきたいと考えていますか。

本コンテストでは、「機会をつかむ」とはどういうことかを、自身の経験や考えをもとに自由に論じてください。それは身近な出来事でも構いませんし、社会全体に関わる視点でも構いません。皆さん一人ひとりの視点から、「機会」と向き合う意味についての発表を期待しています。

3. 発表形式（形式：スピーチ / 言語：英語）

- ①本選での発表は、対面で行う。制限時間は5分とし、超過した場合は減点対象とする。
- ②発表内容はテーマに沿うものである限り自由とするが、本選開催日時点で未発表のものに限る（他の類似コンテストで発表していないこと）。
- ③剽窃は厳に禁止する。引用箇所は出典とともに明示すること。違反者は直ちに失格とする。
- ④スピーチ時は、スライドや画像、動画の併用を認める。本選においても、PowerPoint等を用いた発表を認める。
- ⑤発表中に原稿を見ることは妨げないが、アイコンタクトの度合いも採点されるため、場合によっては減点の対象となることがある。
- ⑥服装は自由だが、着ぐるみや奇抜な衣装は避けること。

4. 応募資格

- ①下記のA～Cのいずれにも該当しないこと。違反して出場した場合、失格となる。

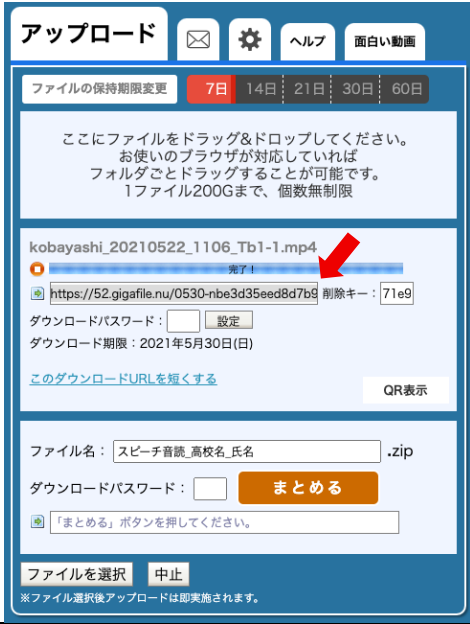
| | |
|---|--|
| A | 満5歳の誕生日以後に、通算12か月を超えて、英語圏（*）に居住したことがある。 |
| B | 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む）に6か月以上在籍したことがある。 |
| C | 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏（*）出身の者がいる。 （*）「英語圏」とは、英語を（i）第一言語、（ii）公用語、または（iii）公用語に準ずる言語として使用する国・地域を指す。具体的な国名・地域名は本要項の末尾に掲載する。 |

- ②高校生の部には、同一高校から複数名が応募できる。
- ③大学生の部には、大東文化大学のいずれかの学部在籍している学生が応募できる。
- ④個別の参加資格の有無については、実行委員会が判断する。

5. 賞および賞品

| 部門 | 賞 | 賞品 | 賞の位置づけ |
|-----------|----------------|------------------|-----------------------|
| 2部門 共通 | 学長賞 | ギフト券 5万円相当 | 2部門を通じて最も優れていた者 |
| 大学生 | 青桐会長賞/ 最優秀賞 | ギフト券 3万円相当 | 学長賞を除き、大学生の部で最も優れていた者 |
| | 優秀賞 | ギフト券 2万円相当 | 2番目に優れていた者 |
| | 奨励賞 | ギフト券 1万円相当 | 3番目に優れていた者 |
| 高校生 | 最優秀賞 | 図書カード 2万5千円相当 | 学長賞を除き、高校生の部で最も優れていた者 |
| | 優秀賞 | 図書カード 1万5千円相当 | 2番目に優れていた者 |
| | 奨励賞 | 図書カード 5千円相当 | 3番目に優れていた者 |
| 2部門 共通 | 参加賞 | 図書カード 3千円相当 | 上記入賞者以外の全出場者 |

6. 応募要領

| | |
|-------------|---|
| <p>応募資料</p> | <p>1. 応募用紙（高校生用、大学生用別に本学HPからダウンロード） https://www.daito.ac.jp/campuslife/contest/e-speech.html 必要事項を記入し、ファイル名末尾の「_yourname」の部分自分の氏名に変更する。 例（高校生）：esc2024_app_h_大東花子.xlsx 例（大学生）：esc2024_app_u_大東花子.xlsx</p> <p>2. スピーチ原稿（MS Word ファイル） 本文の冒頭に、タイトル・所属・氏名を明記する。以下のファイル名で保存する。 ファイル名（高校生）：スピーチ原稿_高校名_氏名.docx ファイル名（大学生）：スピーチ原稿_学科名_氏名.docx</p> <p>3. スピーチの音読音声ファイルまたは動画 ファイル名（高校生）：スピーチ音読_高校名_氏名.mp3（拡張子は例） ファイル名（大学生）：スピーチ音読_学科名_氏名.mp3（拡張子は例） 冒頭にタイトル・所属・氏名を述べる。本文が5分を超えていないことを確認する。</p> |
| <p>提出先</p> | <p>応募用紙とスピーチ原稿を daito-esc@ic.daito.ac.jp へ送信する。件名は「スピーチコンテスト応募」とする。 音声・動画ファイルはメールに添付せず、以下に示す大容量ファイル転送サービスを利用して提出すること。メール本文には、ファイルのダウンロードリンクのみを記載する。</p> <p>ファイル転送サービス：https://gigafile.nu/</p> <p>上記の形式で作成した音声または動画ファイルを、上記サービスにアップロードする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルの保持期限を30日に変更する（初期状態では5日）。 ダウンロードパスワードを設定する場合、あわせてメールで送信する。 表示されるダウンロードリンク（図中の赤矢印部分）をメールにコピーして送信する。 受理が確認されてからデータを削除したい場合には、削除キーを保管しておく。  |
| <p>応募期間</p> | <p>2026年8月31日（月）00:00 JST ～ 2026年9月25日（金）23:59 JST</p> |
| <p>結果通知</p> | <p>2026年10月5日（月）予定</p> |

7. 提出動画について

動画の作成方法については、末尾の「参考」を参照してください。

8. 留意事項

- ①応募資料3点を受信したのち、大東文化大学から3日以内（土日を除く）に受領確認のメールを送信する。この日数の経過後も確認が行われない場合は、念のため問い合わせること。
- ②本選出場者の氏名、所属（学校名）、写真などは、コンテストのプログラム、大学新聞、ホームページなどに公表する。応募原稿の利用権は、本コンテストの広報・運営目的の範囲で大東文化大学に帰属する。
- ③個人情報保護法ならびに本学園規程に従い、応募者および出場者の個人情報は本コンテストの運営にのみ利用し、それ以外の目的には使用しない。

9. 応募・お問い合わせ先

| | |
|---------|--|
| E-mail | daito-esc@ic.daito.ac.jp |
| 応募件名 | 「スピーチコンテスト応募 (...)」 |
| 問い合わせ件名 | 「スピーチコンテスト問い合わせ (...)」 |

- ・ ご質問等は、上記のアドレス宛にメールでお問い合わせください。
- ・ 件名は指定の形式を使用し、情報を追加する場合は括弧書きとしてください。
- ・ 電話での問い合わせには対応いたしかねますので、外国語学部事務室や国際交流センター等への電話連絡はご遠慮願います。

(*)「英語圏」とみなす具体的な国名・地域名は以下のとおり。(五十音順)

| | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・アイルランド ・アメリカ合衆国 ・アンティグア・バーブーダ ・イスラエル国 ・インド ・ウガンダ共和国 ・英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国） ・エチオピア連邦民主共和国 ・オーストラリア連邦 ・ガイアナ共和国 ・ガーナ共和国 ・カナダ ・カメルーン共和国 ・ガンビア共和国 ・キプロス共和国 ・キリバス共和国 ・クック諸島 ・グレナダ ・ケニア共和国 ・サウジアラビア王国 ・サモア独立国 ・ザンビア共和国 ・シエラレオネ共和国 ・ジャマイカ | <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール共和国 ・ジンバブエ共和国 ・スーダン共和国 ・スリナム共和国 ・スリランカ民主社会主義共和国 ・スワジランド王国 ・セーシェル共和国 ・セントクリストファー・ネイヴィス ・セントビンセント及びグレナディーン諸島 ・セントルシア ・ソマリア連邦共和国 ・ソロモン諸島 ・タンザニア連合共和国 ・ツバル ・ドミニカ国 ・トリニダード・トバゴ共和国 ・トンガ王国 ・ナイジェリア連邦共和国 ・ナウル共和国 ・ナミビア共和国 ・ニウエ ・ニュージーランド ・パキスタン・イスラム共和国 | <ul style="list-style-type: none"> ・バハマ国 ・パプアニューギニア独立国 ・パラオ共和国 ・バルバドス ・東ティモール民主共和国 ・フィジー共和国 ・フィリピン共和国 ・ブルネイ・ダルサラーム国 ・ベリーズ ・ボツワナ共和国 ・香港 ・マーシャル諸島共和国 ・マラウイ共和国 ・マルタ共和国 ・マレーシア ・ミクロネシア連邦 ・南アフリカ共和国 ・南スーダン共和国 ・モーリシャス共和国 ・ヨルダン・ハシェミット王国 ・リベリア共和国 ・ルワンダ共和国 ・レソト王国 |
|---|--|--|

【参考】動画の作成方法

Zoom アプリを使用すると、発表者の顔およびスライド等の資料を同時にキャプチャした動画を容易に作成できます。

- ① 提示したい情報(テキスト、画像、動画等)は、一つの PowerPoint ファイルにまとめておく。
 - ② 使用するスライドを事前に開いておく。この際、スライドショーの設定で「出席者として閲覧する(ウィンドウ表示)」に設定しておく。
 - ③ Zoom を起動し、ミーティングを開始する。
 - ④ スライドを画面共有する。
 - ⑤ 自身のウェブカメラ映像とスライドの両方が表示されていることを確認し、録画を開始する。
 - ⑥ スピーチを行う。
 - ⑦ 録画を停止し、保存されたファイルの不要な部分を適宜編集する。
- ※ 音声および映像が明瞭であることを確認すること。